

守谷ボランティア NEWS

2026 年 4 月号（毎月 1 日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘 5 丁目 25 番 1
守谷市市民交流プラザ 2 階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページ URL：https://moriya-cac.org/
開館時間：午前 9 時～午後 5 時（午後 8 時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

健幸ウォーキングを楽しみませんか

好評により今年度も毎月 1 回、ウォーキングを楽しむ企画を開催していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

- 時間 9:00～11:30 ※雨天中止（前日午前中に会のホームページ及び電話連絡）
- 対象 市内在住・在勤の方（障がいのある方もサポーター同伴で参加可）
- 定員 各回先着 20 人 ●参加日 無料
- 申込方法 健幸ウォーキングもりやのホームページまたは電話で申し込む ※各コース実施日の 3 日前までに必ずお申込み下さい。
- 主催・申込・問合せ先 健幸ウォーキングもりや 横山 ☎070-2818-5601

| 日時 | 集合場所 | コース |
|-------------|----------|---------------------|
| 4 月 28 日（火） | 城址公園駐車場横 | 小貝川周遊（6.8 km） |
| 5 月 26 日（火） | 立沢公園噴水前 | 四季の里公園（5.3 km） |
| 6 月 23 日（火） | 城址公園駐車場横 | 守谷城址公園・鳥のみち（4.7 km） |
| 9 月 22 日（火） | けやき台公園 | けやき台・美園・高野（5.8 km） |

【会員募集】いっしょに写真を楽しみませんか！

守谷市内の公民館を拠点に活動している「フォトクラブ写遊」です。定例会では撮影した写真を講師に提出して評価を得た写真を写真展やもりや市美術展に出展。

- 日時 [定例会] 毎月第 4 土曜日 9:00～16:00 ●場所 もりりん北守谷または、もりりん中央
- 会費 1,500/月 ●主催 フォトクラブ写遊 ●申込・問合せ先 金澤 ☎080-5508-6081



【受講者募集】つるし飾り初心者講座

かわいらしい「つるし飾り」を一緒に楽しく作りませんか。

毎回つるし飾りの小物 1 個完成させます。

- 日時 6 月 19 日（金）～令和 9 年 1 月の第 4 火曜日、第 3 金曜日（各回全 8 回）13:00～16:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 参加費 各回 1,000 円（材料費）
- 定員 各回先着 20 人
- 持ち物 洋裁道具一式（はさみ、絹針、赤・生成の絹糸）
- 申込方法 6 月 1 日（月）までに電話で申し込む
- 主催・申込・問合せ先 守谷ひなまつり実行委員会 堀込 ☎090-2745-9358



傾聴とコミュニケーション

～今あなたに伝える「聴くこと」の大切さ～

公認心理師・小島俊久先生をお招きします。

「傾聴の真髄」をお伝えいただきます。

なかなか体験できないデモンストレーションにもご期待ください。

- 日時 5 月 16 日（土）10:00～12:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 定員 先着 50 人（5 月 15 日締切） ●参加費 2000 円
- 申込方法 インスタ、メールまたは電話で申し込む
- 主催・申込 傾聴ボランティア楽ハート 稲井 ☎50-0066
- 後援 守谷市



Instagram



メール



登録団体活動情報 4 月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

| 団体名 | 場所 | 活動日 | 問合せ先 |
|-----------------------|-----------|----------------------------|-------------------------|
| ほっとカモン もりやっ子食堂（子ども食堂） | 文化会館 | 第 3 もしくは第 4 土曜日 10:20～終了次第 | 大塚 0297-45-6938 |
| わんにゃん M's 動物愛護活動（譲渡会） | 守谷市役所 | 第 2 日曜日 13:00～15:00 | wannyan.emuzu@gmail.com |
| 和太鼓 友 和太鼓の練習、イベント | もりりん北守谷 他 | 第 1・3 日曜日 12:00～16:00 他 | 加藤 090-7171-1274 |

助成金情報 * 内容は変更になる場合があります。各 HP をご確認ください。

| | |
|---------|--|
| 社会教育 | ～4/14 2026 年度「助成」 公益財団法人 カメイ社会教育振興財団 https://kameimuseum.or.jp/foundation/ |
| 医療・福祉 | ～4/17 HTM 基金 公益財団法人 公益推進協会 https://kosuikyo.com/ |
| 環境・社会教育 | ～5/11 子供たちの環境学習活動に対する助成 公益財団法人 高原環境財団 https://takahara-env.or.jp/ |



アンコンシャスバイアスとは、自分では気づかないうちに持っている先入観や価値観のことです。私たちが住む地域の環境づくりを考えると、この思い込みが影響することがあります。例えば「若い人は地域活動に関心がない」「高齢者は新しいことが苦手」「子育て世代は忙しくて参加できない」など、無意識に決めつけてしまうことがあります。しかし実際には、世代や立場に関係なく地域に関わりたいてと考えている人もいます。こうした思い込みに気づき、さまざまな人の声に耳を傾けることで、誰もが参加しやすく、支え合える地域づくりにつながります。互いの違いを認め合うことが、住みやすい地域環境を育てる第一歩だと考えます。



こんにちは！守谷のボランティアさん

「守谷市視覚障害者協会」の活動取材してきました

2026年1月24日(土曜) 9時30分～12時00分 @高野公民館

守谷市視覚障害者協会は、視覚障がいのある人同士が日常生活の工夫や役立つ情報を共有し、より良い暮らしにつなげることを目的として、2024年4月に設立されました。

代表の永嶋さんは、2000年頃に緑内障を発症し、現在はほぼ全盲となりました。視力を失っていく過程では、「人生が嫌になるほどの恐怖を感じた」と振り返ります。そうした中で希望となったのがスマートフォンでした。文字情報を音声で読み上げる機能や AI 技術により、本を読むことや情報を得ることが可能となり、大きな可能性を感じたといいます。

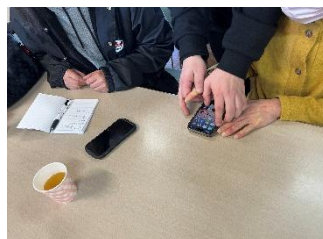
「視覚障がい者は『情報障がい者』とも言われますが、スマートフォンや AI の発展によって、その状況は変わりつつあります。少なくとも自分の住む地域では、視覚障がい者が健常者以上にスマートフォンを使いこなせるようになればと思っています」と、活動への思いを語ってくださいました。

こうした背景から、「第1回スマホ講習会」が開催されました。当日は、視覚障がいのある方や支援者など9人が参加し、スマートフォンを活用して生活に役立てる方法を学びました。講座では音声読み上げ機能や便利なアプリの紹介が行われ、参加者は実際に操作を体験しながら理解を深めていました。はじめは静かだった会場も、次第に質問や会話が増え、和やかな雰囲気の中で講座が進められました。

講師を務めた井上さんも、視力を失い現在は全盲です。当初は不安や孤独を感じていましたが、視覚障がい者の会や就労支援への参加を通じて前向きさを取り戻しました。現在は全国で視覚障がい者向けのスマートフォン講座を行い、防災士としての活動にも取り組んでいます。講習会では、目が見えないため資料に頼らず言葉で伝えますが、おしゃ



べりが上手で説明はとても分かりやすく、参加者一人ひとりに寄り添う丁寧な姿が印象的でした。



無料アプリの読み上げ機能（ボイスオーバー）や Siriなどを学びました♡



参加者のSさんは、視力が低下し心が弱っていた時に永嶋さんから「何をするにも慣れですね」という言葉に励まされ、前向きに頑張ろうと思えたと話します。Tさんは昨年の夏に視力を失い現在は一人暮らしをしています。「電話さえあれば何とか生活できるのでは」と考えていたそうですが、スマートフォンの可能性を感じ、この会に参加したといいます。

講座では音声読み上げ機能「ボイスオーバー」や音声アシスタントの使い方が紹介されました。講師は「最初は難しく感じても、練習すれば必ず使えるようになります」と話し、参加者を励ましていました。

今回の講習会は、スマートフォンが視覚障がいのある人の生活の可能性を大きく広げることを実感できる機会となりました。今後の活動にも期待が高まります。

<市民活動支援センター>